

## 令和4年度第3回 広島城の展示整備に関する懇談会 議事要旨

### 1 懇談会名称

広島城の展示整備に関する懇談会

### 2 開催日時

令和5年3月22日（水）14:00～15:10

### 3 開催場所

広島市役所本庁舎2階講堂

### 4 出席委員等

#### (1) 委員

秋山伸隆委員（座長）、城市真理子委員、西村晃委員、上田宗冨委員

#### (2) オブザーバー

広島城館長、本田学芸員

#### (3) 事務局

広島市市民局 市民局長、文化スポーツ部長、広島城活性化担当課長、株式会社丹青社ほか

### 5 議事（公開）

(1) 広島城三の丸歴史館の建築に係る基本設計について（報告）

(2) 広島城三の丸歴史館の展示に係る基本設計について

### 6 傍聴人の人数

2人（報道関係者を除く）

### 7 懇談会資料名

- ・広島城三の丸歴史館の平面計画の検討状況について【資料1】
- ・広島城三の丸歴史館の常設展示の展示構成【資料2】
- ・広島城三の丸歴史館の常設展示のゾーニング及び来館者動線【資料3】
- ・広島城三の丸歴史館の企画展示室・テーマ展示室のレイアウト案【資料4】
- ・広島城三の丸歴史館の総合ガイダンス展示及び体験エリアの展示構成案【資料5】
- ・令和4年度第2回広島城の展示整備に関する懇談会 議事要旨【参考資料】

## 8 議事要旨

### (事務局)

- ・前回の懇談会において、今回の懇談会までの間に意見を聴取する場を設けてほしいという意見があった。そのため個別に委員への意見聴取を行った。本日の資料はその結果も踏まえたものである。

### (1) 広島城三の丸歴史館の建築に係る基本設計について（報告）

－ 事務局から資料1を説明 －

### (秋山座長)

- ・ただ今の事務局の説明に対して、委員の皆様から御意見・御質問等があればお願いしたい。

### (城市委員)

- ・研究資料室への窓の設置が難しいことは理解した。学芸員の仕事は事務方の仕事とかなり性格が異なる。気を遣う出品交渉なども発生する。学芸員には静かな集中できる環境が必要と考えるがどのように考えているのか。

### (事務局)

- ・学芸員の座席は1階事務室を基本とし、2階研究資料室にも机を置き、研究ができるようにしている。常時研究資料室にいることも考えられるが、歴史館の運営においてはPark - PFIとの連携もとる必要があるため、基本は1階事務室を使い、研究などでは研究資料室を使い、それらを使い分けながら運用することを想定している。

### (城市委員)

- ・気を遣う出品者もいると思う。事務室ではやりにくいと感じる人もいるだろう。そういったことへも配慮して、事務室内部の区分や防音についても検討していただきたい。建築の構造的に難しいかもしれないが、事務室が狭いため、広げるために柱の位置も合わせて検討してはどうかと思う。

### (事務局)

- ・運用を含め、落ち着いた研究活動ができる工夫については今後、検討していく。

### (秋山座長)

- ・学芸員の仕事は資料の調査・研究であるため、資料を扱う場面が多い。そういった意味での環境整備を是非検討していただきたい。

### (事務局)

- ・承知した。

## (2) 広島城三の丸歴史館の展示に係る基本設計について

－ 事務局から資料2、資料3を説明 －

(秋山座長)

- ・ただ今の事務局の説明に対して、委員の皆様から御意見・御質問等があればお願いしたい。

(上田委員)

- ・以前頂いたアンケートの中でも町屋・武家屋敷・茶室再現などのイメージが膨らむ展示が欲しいという要望の割合が高かった。それが今の図面におとされていると思う。
- ・戦前のものが残っていないと思っている市民が多い。中心部は壊滅したが周辺部には残っている。広島城三の丸歴史館が開館すると新たな情報も提供されると思う。今後そのような情報に対して対応できるよう、よい循環になるように願っている。

(秋山座長)

- ・名古屋市の博物館では開館準備を進めてるうちに市民からの寄贈や寄託が増えたという記憶がある。本施設でもまだ把握していない資料について市民から声上がるように、開館前の準備と開館後の活動をしっかり進めていただきたい。

(西村委員)

- ・他都市に比べると資料が少ないのは事実。展示品にこだわると暮らしぶりが伝わりにくい部分がある。説明が中心になってしまうのが心配である。研究を進め柔軟に検討していただきたい。展示品は少なくとも、当時の広島が再現できるように工夫して進めてほしい。

(城市委員)

- ・東洋文化は右から左へ進むという資料特性があり、毛利・福島・浅野の流れはそれに合った配置だと感じた。その後の広島城下絵屏風のあるエリアは流れが大変そうだが、どのように考えているか。

(事務局)

- ・城下町広島の発展と文化のエリアは、まだ仮置きである。展示品や展示手法も含め実施設計で検討する予定である。

－ 事務局から資料4を説明 －

(秋山座長)

- ・ただ今の事務局の説明に対して、委員の皆様から御意見・御質問等があればお願いしたい。

(西村委員)

- ・テーマ展示と企画展示の違いは何か。

**(事務局)**

- ・テーマ展示は単体での利用は考えていない。常設展示の一部として利用するが、企画展を拡大する場合は企画展示室の一部として利用する。

**(上田委員)**

- ・企画展示室は入口が一つしかなく、間口2mで狭く感じる。せいぜい2人が同時に入れる程度だと思う。仮に人気のある企画展示を開催した場合、3mないと危険ではないか。人気があると同時に3人～4人は横になって入るのではないかと思う。構造的な制約はあるかと思うが3mになるよう考えてはどうか。今回の平図面で一番気になった点である。

**(事務局)**

- ・建物の構造と展示ケースへの影響も踏まえつつ、どういったことができるか検討する。通常の企画展では十分と考えてはいるが、規模の大きい企画展の際に人流がどうなるか検討する。

**(秋山座長)**

- ・東京や京都だけでなく、山口県でも雪舟の展示など、人気がある展示会は相当な混雑ぶりである。是非検討してほしい。

**(城市委員)**

- ・基本的には右から左だが、海外系やポップカルチャーの展示は逆回りとなる。展示ケースが入口すぐにあるのはどうかと感じる。案内パネルは前室に置くとしても、もうワンクッションあっても良いか考える。

**(事務局)**

- ・企画展示室の入口と合わせて検討する。

－ 事務局から資料5を説明 －

**(秋山座長)**

- ・ただ今の事務局の説明に対して、委員の皆様から御意見・御質問等があればお願いしたい。

意見特になし

**(秋山座長)**

- ・今回で最後の開催となるため、一言ずつ頂きたい。

**(上田委員)**

- ・広島城のあり方に関する懇談会から参加しているが、当初は小さな展示空間となっていた。そのことを思うとよくここまできたなと感じている。広島市は政令指定都市でありながら歴史博

物館が無い唯一のまちとずっと言われてきた。ここまできて良かったなというのが実感である。

#### (城市委員)

- ・広島に関連する優れた美術作品もある。広島に来た有名な画家も多い。期待をしているし、ここに関われたことに有難く思う。広島城三の丸歴史館の搬入口やセキュリティ面も来年度以降検討していただきたい。

#### (西村委員)

- ・広島県では歴史博物館が福山市に、歴史民俗資料館が三次市にある。広島市には郷土資料館はあるが広島城が唯一の歴史資料展示施設である。広島の年中行事も市民はほとんど知らない。現在と江戸時代の関係が原爆投下を挟んで分からなくなっている。古文書を学びに来る方は関心を持って来られるのだが、古い文化を知らない方が多い。広島城三の丸歴史館には期待している。学芸員の方には頑張ってください、原爆以前の広島が彷彿(ほうふつ)できるよう、広島城がどのような城だったのか、どのような暮らしだったのかが少しでも分かるように工夫して進めていただきたい。

#### (広島城・児高館長)

- ・長い間広島に住んでいるが、広島城は遠くから見ることばかりだった。昨年就任してから1年間毎日登城するなかで、広島のシンボルであり重要なものだと改めて感じた。広島城の新たな1ページを刻む場面で関わることができて光栄である。アンケートでは広島城に入館した理由として城に登りたかったという意見が多く、展示品を目的に来た人は残念ながら少ない。三の丸に移ってからは有料でも見てもらえる魅力のあるものをつくっていきけるよう尽力していきたい。

#### (広島城・本田学芸員)

- ・20年以上勤務している。展示品や資料を見てもらいたいということは学芸員皆の願い。長く愛されるよう学芸員の1人として尽力していきたい。今後も御協力をお願いしたい。

#### (秋山座長)

- ・懇談会は以上とする。最後に事務局から事務連絡があればお願いしたい。

#### (事務局・市民局長)

- ・委員の皆様には7回にわたり意見を頂き感謝申し上げます。「広島城展示等基本計画」と基本設計を取りまとめることができた。委員の皆様には改めて感謝申し上げます。令和8年10月の開館をめざして、頂いた意見を踏まえながら整備を進める。委員の皆様には引き続き御指導・御協力をお願いする。

#### (秋山座長)

- ・不慣れながら座長としてお世話になった。委員の皆様には様々な御意見や御提案を頂き感謝する。私も70歳になり各種審議会の委員を退任する予定であるが、最後にこの懇談会に参加でき、広島市に最後の奉公をできたことに感謝している。委員の皆様からは活発な意見を挙げていただき、事務局もそれに対して誠実に対応いただいたと感じる。今後開館に向けてよりよい歴史館が実現するようよろしくお願いしたい。